広報みしま

町のすがた

12

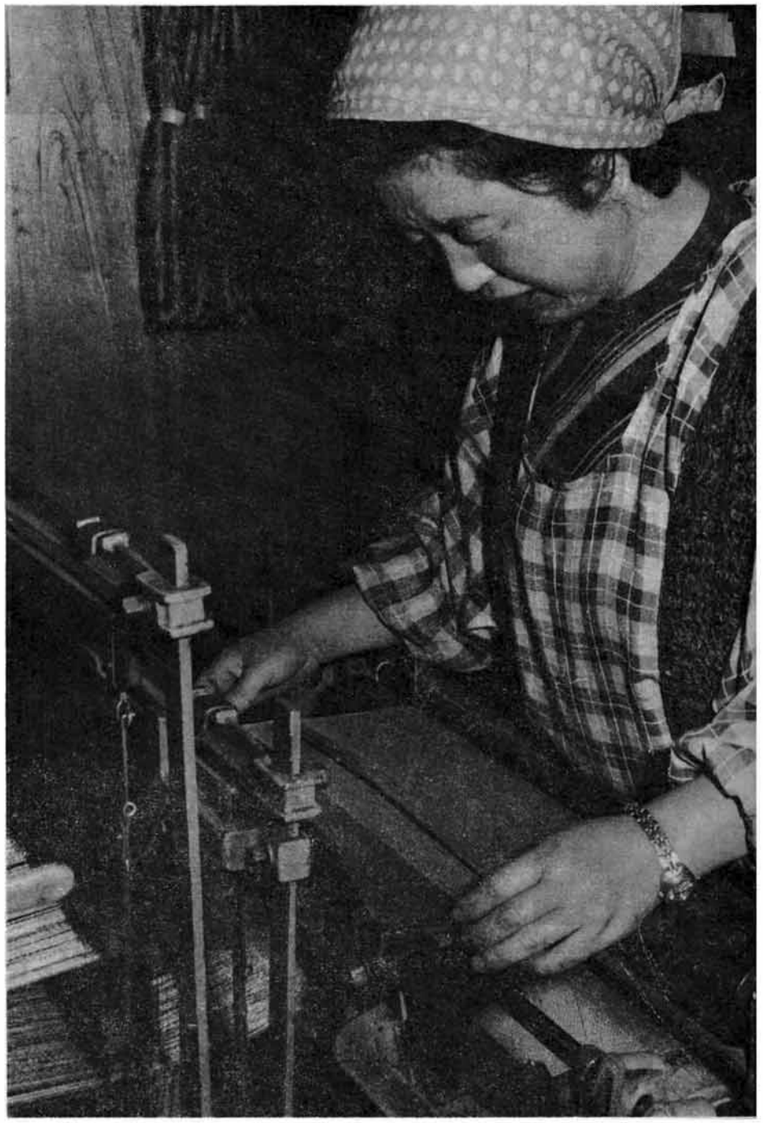
第105号

(12月1日現在)

人口	男	3,346人(－ 3)
	女	3,593人(＋ 8)
	計	6,939人(＋ 5)
世帯数		1,560 (＋ 2)

( )は11月1日との比較

発行 昭和51年12月15日
新潟県三島郡三島町役場
☎ (025842) ㈹ 2221
印刷 長岡市北越印刷㈱



はたらくひとびと

出機(でばた)

「機械に初めてつかまったときは、一反(約十三㍍)織るのに八日間もかかった。今は柄にもよるが、一日半です」と、話す小川トヨ(瓜生)さんの手は片ときも休まない。

「越後紬(つむぎ)」などの出機は、町にも相当あるが、そのほとんどが農家の主婦の細々とした内職で、「主人の弁当代がやっと。田んぼがあるから、家もあけられないし、暇なときにできるので何んとか……」が実態のようだ。

こんなきれいな柄の着物、着てみたくなるでしょう?「それは女だもの……。それで記念に娘のを一反買いました」そういえば、小川さんには、美人の娘さんがいる。母親の織った着物を着て"晴れの日"をむかえられるなんて、なんとすばらしいことだろう。

(季節の開話)

稲作りのコツ

"ダブルヘッター師走選挙"も熱戦?のうちに終り、今年も残りわずかとなりました。

昔、仁徳天皇は盆地に立ち上る庶民の食事を作る煙を見て政治がうまくいっていると感じたと伝えられているが、はたしてそうだろうか。

稲作りは、農道からながめただけでは決して"稲の気持"はつかめない。水をかけるとき、水口からはどんどん水が入っていても、中ほどに入ってみると水が流れているかどうかわからないほど。さらに落口の方に回ってみると、地割れがしていて水が入っているとは、およそ想像もつかない。そのうえ、ようやく回った水も、なくなるのは一番最初だからたまらない。

さらに水口の稲は、いつも豊富に水を与えられているから、栄養を貯え米を作る仕事を忘れ葉をやたらと出し、その色を競い合うことに日々を送り、同じ田んぼでいつも枯渇状態にありながらも、身を細め黄色い体で必死に秋のみのりに備えている稲のあることなど思いもよらない他人事。ましてや、農道からながめるだけの"その人"にこの"稲の気持"などわかるはずもない。

稲作りのコツは、一枚の田で良い所が目立つよりも、あぜぎわ、すみずみに悪い稲がないよう、平らに作ることだという。

今回終った国政選挙。これからの政治にこんなことを感じた人はいなかっただろうか。

「使用目的」を明らかに

戸籍謄本の請求

戸籍が不当に利用され、プライバシーが侵害されることのないよう、戸籍や除籍謄本の請求のしかたが十二月から改正されました。

今後は、他人の戸籍、除籍謄本を請求する場合「請求の事由」つまり、どんな目的で請求するのか具体的に示していただかなければなりません。したがって、請求の目的が不当なものである場合、請求には応じられないことになっています。

また、戸籍簿等を閲覧する制度も今回の改正で廃止され、戸籍に関する個人の秘密はより固く守られることになりました。

ただし、本人、配偶者、子、父母、その他法務省令で定められた人は、その資格を明らかにするだけでたります。したがってそれ以外の場合に、請求事由を記載していただくわけです。

水道管を寒さから守ってください

水道管の凍結防止作業はお済みでしょうか。止水栓の場所は雪が積っても大丈夫でしょうか。

屋外の水道管が"むき出し"などということはまずないと思いますが、もしあれば急いで実施してください。

最近は屋内引き込み管の蛇口附近がよく破裂しています。露出部分はわずかですので市販されている「スチロールカバー」、「防寒チューブ」などで保護するのが便利です。

家庭引き込み管からの漏水は、すべてそのご家庭の負担となります。急に水圧が下ったりした場合隣り近所に問い合わせるなどして一刻も早く原因をお確め下さい。

そのためにも止水栓は開いをするなどして、すぐ止められるようにしておくことをおすすめいたします。

なお、水道料金は冬期間暫定料金で納入いただき、四月分で精算させていただくことになっていますのでご了承ください。

林業経営に有利な資金を

林業経営の拡大や充実をめざす人のため、大変有利な融資制度ができました。

たとえば、林業経営のため必要な資金を五年から七年間無利子で借りることもできます。

資金の種類、限度額、償還期間申請手続等詳しいことは、産業課または、中部森林組合におたずねください。

役場人事

◇退職(十一月三十日付)用務員田中五郎作(なお、三月三十一日まで引き続き臨時職員として脇野町小学校勤務)

役場業務のお知らせ

◇年末、年始の業務

例年のとおり、年末、年始の休暇のため、十二月二十九日から一月三日まで役場業務を休ませていただきます。

ただし、死亡届、出生届など届出期限のあるもの、緊急を要するものなどについては取り扱いいたしますので、電話等で照会して下さい。(支所扱い分も本庁にお願いします)

◇教育委員会(公民館も)業務体育館で

十二月から、教育委員会の事務局は体育館に移転しました。

これは、町史編さん事業や、体育館の有効利用と管理の強化をはかるためのものです。

電話は役場の内線(2221番)専用(2756番)の二本です。

郷土資料館だより (19)

タバコ盆

キセルで刻みタバコを吸うときに用いる主として来客接待の喫煙用具である。中に刻みタバコを入れ、火入れ、灰吹きがセットになって納められている。

盆は、だ円形、ます形、長方形があり、用材は、紫檀(したん)、鉄刀木(タガヤシ)、黒柿、桑、欅、神代杉のほか各種の用材が用いられた。高価なものには金蒔絵(まきえ)、螺鈿(らでん)が散りばめられたものさえあった。

火入れの多くは陶製であったがなかには真鍮(しんちゅう)、銅、銀などで作られたものもある。

吸いがらは、灰吹きに入れるが火を消すために紫檀、黒柿などのふたがついている。灰吹きは、ほとんど静岡県の吐月峰の竹が使われた。

タバコ盆は、江戸時代初期の形は明らかでないが、中期から盆形のものが用いられ、手下げ形は五十年ほど遅れている。今日一般では使われていないが、歌舞伎の世界では、なくてはならない小道具の一つである。

タバコ盆

編集室から

人は、楽しい思い出をいつまでも胸にしまっておくようにできているとか。今年は、みなさんの胸にどんな楽しい思い出が残ったでしょうか。

もちろん、忘れることのできない悲しみに遭われた人もあることでしょう。

楽しい思い出はいつまでも大切に、悲しみはそれを乗り越え、やがて来る昭和五十二年、元気でお過し下さい。

12、1月衛生行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
12.17	二才児検診	49.7.1～49.12.31生れの幼児	総合福祉センター	12.30～14.00
12.24	乳児検診	生後3カ月～1年未満の乳児	〃	〃
1.13	献血	希望者	〃	10.00～15.00

成人式のご案内

◇ 1月15日(午前11時開式)町体育館
◇ 対象者は昭31.4.2～32.4.1生まれの人(個人あての案内状も差し上げます)
◇ 記念講演の講師には、大野出身の東洋大講師片桐一男先生を予定しています。
◇ 会場には遅くとも10時45分までにお入り下さい。

電話線にご注意を

雪降ろしの際は電話線を切断しないようお願いします。

電話線近くの木の枝も切ってくださるようお願いします。

衆議院議員総選挙
参議院新潟県選出議員補欠選挙　開票結果

「ダブル選挙」に審判下る

町民は急変を好まず

まず、十二月五日に行われた衆議院議員総選挙の開票結果（三島町分）は、上位五人までが前回と同じ順位、その得票傾向もほぼ同様で、三島町の有権者は急変を好まず、現状維持の判断を示す結果となりました。

投票率は、九〇・一八％と前回（九〇・三四％）をわずかに下回ったものの九〇％台に乗り、今回の選挙の関心の高かったことを裏づけました。

保守票、革新票別では、田中候補の分を含む保守票が、三千九百三十票、六五・五％に対し、高田候補の分を除く革新票が千五百四十票、三四・四％となり前回の同区分による得票割合六七・一％と三二・九％よりは若干、革新票の割合が高くはなっていますが、大きな、変化があったとはみられませんん。

一方、十二日の参議院新潟県選出議員補欠選挙は、当初から塚田候補の圧倒的優勢が伝えられたこともあって、投票率は振わず六五・四五％と、やはり前回も総選挙のあとで行われた同補欠選挙の投票率（六九・四一％）をも下回りました。

ところで二つの国政選挙が終りましたが、投票に参加するだけでなく、自分の行使した権利が正しく政治に反映されているかなどに常に関心を持ち、日常生活のなかで〝積極的な政治参加の義務〟を果し、それを実践してゆくことが明るい選挙、正しい政治につながるのではないでしょうか。

有権者数、投票率

区分		衆院選	参院補選
当日の有権者数	総数	5,001人	4,999人
	男	2,351〃	2,351〃
	女	2,650〃	2,648〃
投票(者)数	有効票	4,472票	3,232票
	無効票	38〃	40〃
投票率	合計	90.18%	65.45%
	男	90.85〃	69.08〃
	女	89.58〃	62.24〃

候補者別得票数（衆議院選）　（届出順）

候補者氏名	党派別	得票数(票)
小林　進	日本社会党	685
田中角栄	無所属	1,713
渡辺ひでお	自由民主党	305
片桐政美	民社党	250
高田巌	無所属	2
古川久	公明党	214
村山達雄	自由民主党	488
三宅正一	日本社会党	314
真貝秀二	日本共産党	77
大野市郎	自由民主党	424

同　（参議院補選）　（届出順）

候補者氏名	党派別	得票数(票)
塚田十一郎	自由民主党	1,805
伊藤千秋	日本共産党	82
吉田正雄	日本社会党	1,345

助役に遠藤栄門氏を再任

臨時議会　新しい教育委員も

十一月二十九日に開かれた臨時議会に、任期満了となった助役の選任案件が提出され、遠藤栄門氏の再任が決まりました。

また、二人の委員が任期切れのため欠員となっていた教育委員会委員に逆谷の近藤佐太郎(61)、吉崎の小林誠三郎(61)の両氏を任命する件についても同意があり、それぞれ同日付で就任されました。

◇遠藤栄門氏略歴　昭和十六年旧脇野町役場に入り、その後総務課長などを経て、昭和四十七年十一月助役に就任。助役二期目。（大字上岩井、五十九歳）

除雪に強力な協力を

鳥越東線　冬期間一方通行に

こんなことでは本格的な冬になったら……。

異常冷夏と早くからの降雪で今冬は、何か無気味な感じさえします。そこで気になる除雪体制などについて担当課の話しをまとめてみました。

今冬の除雪体制で強化されたのは、バス路線の確保のため越後交通が「除雪センター」を旧脇野町駅に設置して、与板関原線と長岡出雲崎線の一部を請負って除雪することとなったことです。当然それによる余力は他の路線の確保に充てられます。

町道については、従来のように主要幹線町道を出勤・通学時までに確保することに最重点がおかれ次いで積雪量などによる除雪順位によって、順次他の路線があげられます。

ところで、除雪車の運転手の話によれば路上駐車が完全になくなり、危険か所の表示が完全であれば、一日一時間以上は余計に稼動できるということです。

究極のところ、沿線住民といわず、全町民の積極的な〝ジャマモノ〟の撤去が、除雪を順調にすすめる決め手となるようです。

冬の交通事故にも気をつけて!!

冬の交通事故は、スリップによるものが圧倒的に多く、免許を手にして初めて冬を経験する人には〝魔の季節〟となりかねません。それと目立つのが飲酒運転の増加です。こんなことは、もうくどくどと言う必要もありません。

また、各地で冬期間の交通規制が実施されます。

町でも、鳥越東線が、明年三月十五日まで、日丸屋さん方向から進入する一方通行規制となります。

ぜひ、この冬も慎重運転で、安全に乗り切ってください。

スリップ事故に注意を

正月訪問マナー

冬の交通事故防止運動 12/11～1/10

英語学習 最新兵器

中学校に「語学訓練装置」（ランゲージ・ラボレトリー）

県下でも指折りの設備

中学校に、この種の設備としては県下でも指折りの施設に数えられる「語学訓練装置」が完成し、英語学習に威力を発揮している。

この装置、英語の頭文字をとって「L・L」（エルエル）と呼ばれているもので、主に英語の発音学習に使われている。

各生徒の机には、マイク、ヘッドホーン、録音機が備えつけられており、部外の音が聞こえないよう両側に「つい立て」がある。

学習は、あらかじめ用意された外人教師による録音テープや、先生の発音を聞きながら、先生と生徒、あるいは特定生徒の声を全生徒に流すなどの方法で進められたり、自分の声を録音して、それを聞く方法などがとられる。

この装置の利点について、英語担当の先生の話しでは、「外人教師による正しい発音を耳もとで正確に聞くことができる。自分の発音をくり返し聞いて練習することができるのが大きな特徴」で、そのほかにも数々の活用の方法があるということです。

総額約、七百万円というこの装置、来年度さらに映像による設備の充実も考えられているという。

生徒には「確かにすばらしい装置である。しかし、いかに立派な装置もその機械が勉強するのではなく、勉強するのは君たちだ。教室に入っているだけで学力がつくなどと決して考えるな」と話しをしているとか。

各学年一週一時間のこの授業、生徒の反応も「よくわかる」ということ。この投資の可否は、きっとこの教室で学んだ生徒たちが将来、証明してくれるに違いない。

○○番さんわかりましたか。

（はい、わかりました）
Yes I do

新しい装置は生徒にもよくわかると評判がよい。（写真・新潟デザインセンター提供）

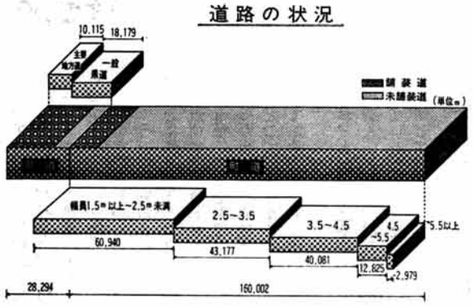
町の統計 (27)

三島町地内の道路延長は、県道が二十八キロメートル、町道が百六十キロメートルにも及んでいる。

県道では、与板関原線が今年度も補装工事が進められたので、この路線を含む町内主要三路線は、ほぼ百％の舗装率となった。グラフの未舗装部分は、最近町道から昇格した一般県道二路線の山間部のものである。

一方、町道の舗装率をみた場合幅員二・五メートル未満の道路が全体の三分の一を超える三八％もあることなどから、七・六％と低いが、主要町道、いわゆる〝生活道路〟については、着々と整備が進められており、通勤、通学など普段通る道路の完全舗装化の実現も、そう遠くない。（数字は昭和五十一年三月末現在）

道路の状況



生しいたけあります

通年栽培に取り組む中部森林組合

写真・新潟デザインセンター提供

「冬でもしいたけがニョキ、ニョキ、正月には焼いた生しいたけで一杯どうですか」と、中部森林組合（安達保組合長）では、成功した「しいたけの通年栽培」の明るい見通しにニコニコ顔だ。

今年、県の特用林産物生産施設の補助と関係市町の補助を受け、冷暖房設備、栽培棟など約百七十万円をかけて七日市地内に完成したこの施設、始めるきっかけとなったのは、組合が請負う造林地から出る「雑木」、従来はほとんど製紙会社に引き取ってもらっていたが、最近はその値も下り、トントンか〝足〟が出るほど。

それなら、これを何んとかもっと効率よく活用して、組合員のためになることをと、考えついたのがこのしいたけ栽培。

組合の野島参事さんに聞くと、「これだけの資源をかかえた町でタダ同然に捨てるのは、もったいない。ぜひ成功させて組合員の林業に対する意識の変革と、林業経営の新しい分野を試してみたい」と夢は大きい。

日吉保育所に一足早い正月

日吉保育所で、十二月三日、園児と父兄のモチつきがあった。なれない手つきでキネを持つ子供たち、今ごろが正月を待つもっともたのしい季節だろう。

日吉保育所のモチつき

老人医療費受給者（㊋制度）のみなさんへ

今まで医療機関で受診されるとき、国保以外の人は、老人医療費請求書が必要でしたが、10月診療分から不要となりました。今後は健康保険証と受給者証だけを持参して下さい。（ただし、柔道整復、あんま等は今までどおりです）

ありがとうございました

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

赤い羽根共同募金　897,937円
歳末たすけあい募金　321,355円

みなさまのご協力でたくさんの募金をいただきました。それぞれ恵まれない人たちのため有効に使わせていただきます。